

酒井家庄内入部400年記念事業第2回実行委員会

次 第

日時：令和2年11月24日（火）

午前10時30分～

場所：グランド エル・サン

1 開 会

2 贈呈式

3 挨拶

4 報 告

- (1) 参与の就任について
- (2) アドバイザーの選任について
- (3) 部会員の選任について
- (4) コンサルタント事業者の選定について
- (5) これまでの主な取組状況について

5 議 事

- (1) 第1号議案 基本方針について
- (2) 第2号議案 キャッチフレーズについて

6 協 議

- (1) 令和2年度の今後の取組について
- (2) 令和3年度以降に想定する主な取組について
- (3) その他

7 そ の 他

8 閉 会

酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会 委員名簿

(敬称略、順不同)

No.	氏 名	役 職 名 等
1	皆 川 治	鶴岡市長
2	本 間 新兵衛	鶴岡市議会議長
3	加 藤 捷 男	鶴岡商工会議所会頭
4	上 野 隆 一	出羽商工会会長
5	上 野 雅 史	株式会社荘内銀行取締役会長
6	國 井 英 夫	株式会社庄交コーポレーション代表取締役社長
7	宮 野 直 生	出羽三山神社宮司
8	石 原 純 一	鶴岡観光協会会長
9	上 木 勝 司	鶴岡市都市計画審議会会長
10	酒 井 忠 順	一般社団法人荘内酒井歴史文化振興会代表理事
11	布 川 敦	鶴岡市教育委員会教育長
12	中 野 洋	鶴岡市小学校校長会会長
13	五十嵐 良 二	鶴岡市中学校校長会会長
14	堀 誠	松ヶ岡開墾場理事長
15	上 野 由 部	鶴岡市文化財保護審議会委員
16	阿 部 博 行	鶴岡市史編纂委員
17	橋 本 政 之	株式会社荘内日報社代表取締役社長
18	保 科 裕 之	株式会社山形新聞社鶴岡支社長

役 員 等

顧 問

酒井家第18代御当主 酒 井 忠 久 氏

参 与

衆議院議員 加 藤 鮎 子 氏

山形県議会議員 今 野 美奈子 氏

山形県議会議員 佐 藤 聡 氏

山形県議会議員 志 田 英 紀 氏

山形県議会議員 関 徹 氏

山形県議会議員 高 橋 淳 氏

山形県議会議員 阿 部 ひとみ 氏

山形県議会議員 石 黒 覚 氏

山形県議会議員 梶 原 宗 明 氏

山形県議会議員 星 川 純 一 氏

山形県議会議員 森 田 廣 氏

山形県議会議員 田 澤 伸 一 氏

山形県庄内総合支庁長 永 澤 浩 一 氏

山形県教育庁庄内教育事務所長 加 藤 弘 人 氏

酒田市市長 丸 山 至 氏

三川町長 阿 部 誠 氏

庄内町長 原 田 眞 樹 氏

遊佐町長 時 田 博 機 氏

庄内観光コンベンション協会専務理事 鈴 木 仁 氏

公益財団法人庄内南洲会理事長 水 野 貞 吉 氏

監 事

松ヶ岡開墾場理事長 堀 誠 氏

株式会社庄内日報社代表取締役社長 橋 本 政 之 氏

酒井家庄内入部 400 年記念事業 アドバイザー略歴

■総合アドバイザー

	役割	氏名	専門・略歴
1	事業全体 文化行政	太 下 義 之	<p>【文化政策研究者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター長 (H30 まで) ・(独行) 国立美術館 理事 ・同志社大学経済学部 教授 ・鶴岡市食文化創造都市アドバイザー ・鶴岡市文化芸術推進基本計画策定委員 <p>○現在、文化政策を専門とするシンクタンク Active Archipelago の共同代表として政策提言</p>

■情報発信戦略アドバイザー

	役割	氏名	専門・略歴
2	情報発信 機運醸成	渡 邊 賢 一	<p>【地域プロデュース、情報発信・映像プロモーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房 地域活性化統合事務局に勤務 (H20. 21) ・一般社団法人元気ジャパン、デザイン会社 株式会社 XJPJ を設立し活動。 ・鶴岡市がミラノ万博出展時、一部プロモーション事業を委託 ・R2. 2 月：日本遺産アドバイザー事業派遣事業により来鶴、助言指導。 ・福島県、愛媛県、アイランダーサミット石垣 (石垣市)、総合プロデューサーとして活躍 <p>○内閣府クールジャパン官民連携プラットフォーム有識者委員</p> <p>○内閣府 地域活性化伝道師</p>

■各部会の名簿について

部会名	◎部会長○副部会長	部会員
総務企画	◎武田 真理子 (東北公益文科大学) ○大橋 由明 (ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ)	・佐藤 友介 (鶴岡青年会議所) ・岡部 浩美 (鶴岡全国通訳案内士の会) ・宮城 妙 (こしやってマルシェ) ・難波 竜次 (まちづくり塾プラス) ・ミヨ サラ (DEGAM鶴岡)
観 光	◎石原 純一 (鶴岡観光協会) ○小林 好雄 (出羽庄内地域デザイン)	・大和 匡輔 (鶴岡シルク) ・上林 弘昌 (庄交トラベル) ・中村 聰 (荘内大祭実行委員会) ・佐藤 忠雄 (荘内大祭実行委員会) ・渡部 政一 (新茶屋) ・太田 百合 (湯田川温泉 理太夫) ・永壽 祥司 (DEGAM鶴岡) ・後藤 富実 (鶴岡商工会議所) ・眞田 奈巳 (出羽商工会)
まちづくり	◎上木 勝司 (市都市計画審議会) ○秋野 公子 (山形県建築士会)	・矢口 哲也 (早稲田大学) ・加藤 捷男 (商工会議所) ・上野 隆一 (出羽商工会) ・佐藤 泰光 (全農山形) ・前田 直之 (東北ニュービジネス協議会やまがた支部) ・國井 英夫 (庄交コーポレーション) ・丸山 貴光 (JR 東日本鶴岡駅長) ・酒井 忠順 (荘内酒井歴史文化振興会) ・宮澤 巖 (都市再生機構) ・山口 朗 (鶴岡市開発公社) ・三浦 秀人 (鶴岡駅前商店街振興組合) ・伊藤 秀樹 (マリカ西館管理組合) ・佐々木 邦夫 (鶴岡市コミュニティ組織連合会) ・阿部 貴一 (鶴岡市町内会連合会) ・大久保 紀子 (社会教育委員)
歴史文化	◎上野 由部 (黒川能保存会) ○阿部 博行 (市史編纂委員)	・渡部 幸 (出羽三山歴史博物館) ・菅原 義勝 (致道博物館) ・菅 紫の (鶴岡南高等学校) ・成澤 愛莉 (鶴岡南高等学校)

酒井家庄内入部 400 年事業コンサルタント事業者について

1 企画運營業務

□業務内容

- ・令和3－4年度の全体事業計画の策定支援
(講演会・シンポジウムをはじめとする各専門部会が実施する記念事業の計画づくりと開催支援)
- ・情報発信戦略業務受注者(後述)と連携した効果的な情報戦略の提案

□代表事業者 株式会社 山形アドビューロ

代表取締役社長 本田孝三 (山形市七日町四丁目 16 番 18 号)

〈構成員〉

○株式会社山形新聞社 鶴岡支社

鶴岡支社長 保科裕之 (鶴岡市本町 3-7-52)

○山形放送株式会社 鶴岡支社

鶴岡支社長 佐藤公一郎 (鶴岡市本町 3-7-52)

○株式会社電通東日本 東北支社

東北支社長 大山健司 (宮城県仙台市青葉区国分町 3-6-1)

2 情報発信戦略業務

□業務内容

- ・ホームページ、SNSの構築、情報発信
- ・ロゴ策定支援(投票形式:紙媒体、インターネット活用)
- ・記念事業パンフレット製作
- ・その他、効果的な情報戦略の提案と発信

□代表事業者 はんどれい株式会社

代表取締役 佐藤玲子 (鶴岡市宝田一丁目 7 番 28-6 号)

〈構成員〉

○株式会社 オリーブ

代表取締役 橋本道春 (酒田市新橋 1-14-12)

○株式会社 荘内日報社

取締役社長 橋本政之 (鶴岡市馬場町 8-29)

■これまでの主な取組状況について

【全般的事項】

○第1回実行委員会（令和2年3月18日）

- 各部会の構成員の検討調整
- 事業計画（案）の検討
- アドバイザーの選任と意見交換（7月～）
- コンサルタント事業者の公募と選定（9月～10月）
- 庄内管内市町等関係団体担当者会議（10月）
- 庁内幹事会の開催（10月、11月）

○第2回実行委員会の開催（令和2年11月24日）

【各部会の検討状況】

部 会	概 要
総務企画	<p>【開催日】①10月14日（水） ②11月12日（木）</p> <p>【概要】・総務企画部会の役割について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に向けた全体事業計画への意見交換 ・基本方針・キャッチフレーズについて、WEB上で部員等の意見を集約。アドバイザーとの意見交換も踏まえ、原案を作成
観 光	<p>【開催日】①10月12日（月） ②11月5日（木）</p> <p>【概要】・観光部会の役割について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針、キャッチフレーズについて意見交換 ・観光コンセプト・ターゲット・事業効果など、「知」「旅」「食」をテーマに企画案を検討
まちづくり	<p>【開催日】①7月1日（水） ②10月15日（木）</p> <p>【概要】・城下のまち鶴岡の将来を見据えたまちづくりの方針を検討</p> <p>【関連事業】・鶴岡公園正面広場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡公園内堀周辺道路修景整備
歴史文化	<p>【開催日】①10月29日（木） ②11月18日（水）</p> <p>【概要】・歴史文化部会の役割について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針・キャッチフレーズについての意見交換 ・伝えるべき歴史や事業についての意見交換（三方領地替えの中止、庄内に住み続けた殿様、修験道の山に囲まれた庄内、祭りなど）

第1号議案

酒井家庄内入部 400 年記念事業 基本方針について

■基本方針

庄内の歴史を知り、庄内の精神・価値を学び考え、
持続可能な未来を創造します。

【設定の考え方】

庄内はもともと北に成立した譜代藩として、1622 年より酒井家が藩主を勤めた地域であり、また厳しくも豊かな自然の中で出羽三山信仰をはじめとする独自の精神世界を築いた地である。この土地の人々は多くの知恵、技術と協力により幾多もの苦難を乗り越え、その功績と遺産の上に現代の暮らしが成り立っている。

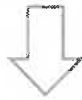
本事業では、この記念すべき節目の時に庄内で暮らす人々はもとより、世界中の人々とともに「庄内の歴史を知る」ための新しい方法や場を創出し、その上で多様な人々との対話と交流を通して、一人ひとりが「庄内の精神・価値を学び考える」ことを推進し、「持続可能な未来を創造する」ことにより庄内から世界に向けて新しい豊かさ・価値を発信することを目的とする。

第2号議案

酒井家庄内入部 400 年記念事業 キャッチフレーズについて

■キャッチフレーズ

400 年から学ぶ SHONAI 庄内 みんなでつなげ SHORAI 将来



修正案が提案され、下記の通り可決

400 年から学ぶ SHONAI 庄内 みんなでつなごう SHORAI 将来

【設定の考え方】

基本方針のポイントである「庄内の歴史を知る」、「庄内の精神・価値を学び考える」、「持続可能な未来を創造する」ことにより、庄内から世界に向けて新しい豊かさ・価値を発信することをイメージした。

「SHONAI」と「SHORAI」を掛け合わせることによって、動画配信を含め音声でのリズムカルな発信とともに、「SHONAI」という言葉を世界に向けた情報発信戦略のキーワードにする。

酒井家庄内入部 400 年記念事業 目的、基本方針、キャッチフレーズ

■ 記念事業の目的

酒井家庄内入部 400 年を契機として、地域固有の歴史や文化に対する理解を促進することで、郷土への愛着と誇りを高めるとともに、その魅力を広く国内外に発信することで交流を拡大し、次代を見据えた庄内・鶴岡の更なる発展を図ることを目的とする。

■ 基本方針

庄内の歴史を知り、庄内の精神・価値を学び考え、

持続可能な未来を創造します。

■ キャッチフレーズ

400 年から学ぶ SHONAI 庄内 みんなでつなげ SHORAI 将来



修正案が提案され、下記の通り可決

400 年から学ぶ SHONAI 庄内 みんなでつなごう SHORAI 将来

○基本方針・キャッチフレーズの参考事例

参考資料 2

■新潟県長岡市（平成 28 年度～平成 30 年度）

基本方針	郷土長岡の歴史や文化、まちづくりの精神を、 次なる 100 年のまちづくり、ひとづくりに活かす
キャッチ フレーズ	次の百年へ 新しい米百俵

■広島県福山市（平成 29 年度～令和 4 年度）

基本方針 (目的)	福山城築城 400 年を契機として、先人の歩みや大切にしてきた思いを、 あらためて振り返り、市民の心を一つにする機会とします。 さらに、福山城をはじめ、市全体の歴史・文化資源等の価値を再認識し、 磨き上げ、その魅力を市内外に発信することで、 「城」があるまち福山」を市民全体の誇りとします。
キャッチ フレーズ	城のあるまち 福のまち

■山梨県甲府市（平成 28 年度～令和 3 年度）

事業方針	こうふ開府 500 年を、「次なる 100 年」に向けての新たな飛躍へのスタートとしてとらえる。 甲府の持つ重層的で多様な歴史・伝統・文化を再認識するとともに、500 年にわたり「甲斐の府中」のまちづくりに携わってきた先人への感謝の心に祝意もって表し、甲府愛の醸成と未来に向かって夢と希望にあふれた新たな甲府市の創造に繋がる「こうふ開府 500 年記念事業」を実施し、国内外に甲府の魅力を発信する。
キャッチ フレーズ	つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府 500 年

■協 議

(1) 令和2年度の今後の主な取組について

○全体事業計画の策定

各部会、関係団体、アドバイザー等からの助言指導を踏まえ、令和4年度までの全体事業計画について、計画（案）を策定する。

○ロゴマークの公募、製作

地域全体の機運醸成と効果的なPR活動につなげるため、ロゴマークを公募し、一般投票により決定する。

決定したロゴマークを活用したPR素材の製作と合わせ、効果的な活用方法についても検討する。

○実行委員会ホームページの立上げと各種情報発信

本事業の戦略的な情報発信のプラットフォームとして、実行委員会のホームページを立ち上げる。合わせて情報発信のツールとして、SNS（フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、LINE、YouTube等）を活用し、機運醸成やPR活動の基盤づくりを図る。

○その他

- ・協賛金、寄付金、ふるさと納税等の外部資金の調達について検討

(2) 令和3年度以降に想定する主な取組について

(現在想定、検討している主な取組)

項目	取組概要
普及啓発事業	<p>○400年記念事業 記念式典・講演会等開催事業 (R3～R4) 令和4年度に向けた機運醸成と歴史文化を学び考える記念講演会等の実施 (R3 プレ開催、R4 に記念式典・講演会を想定)</p> <p>○普及啓発事業 (R3～R4) マスメディアを活用した番組制作や広報活動、ポスター・チラシ・記念グッズ等の製作、庄内空港への大型タペストリー展示、JR各駅への企画展示等</p>
イベント関連事業	<p>○400年記念誘客事業 (R3～R4) ガイドブック「訪れたい鶴岡」の製作、大手旅行エージェントとの連携セミナー、旅行商品の造成等</p> <p>○飲食・土産商品開発助成事業 (R3～R4) 庄内藩や酒井家ゆかり「食」やお土産品開発などの調査研究</p> <p>○鶴岡公園桜ライトアップ事業 (R3～R4)</p> <p>○歴史再発見事業 (R3～R4) 地域の歴史文化を「知り・学び・発信」する、親子記者プロジェクト</p> <p>○入部行列 (R4)</p>
連携事業	<p>○庄内各市町等との連携事業 (R3～R4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内ミュージアム連携事業 (各地をつなぐモデルルートの設定) ・庄内藩の「釣道」をテーマとしたイベント等の検討
記録保存事業	<p>○記念誌発行事業 (R3～R4)</p> <p>○庄内歴史文化史料デジタルアーカイブプロジェクト (R3～R4) 庄内の歴史的な史料や建造物、自然、風景などデジタルで次世代に継承するプロジェクトを構築</p>
調査・整備事業	<p>○鶴岡市が実施を計画している調査・整備事業 (R3～R4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡公園内堀周辺道路修景整備事業 (R3) ・鶴岡公園正面広場整備事業 (R3～R4) ・未指定文化財調査事業 酒井家墓所調査 (R3～R4)



②方向イメージ

R3 道路修景整備予定内容

- ◆ 車止め設置
- ◆ 照明設備設置(防犯灯)
- ◆ ベンチ設置
- ◆ 路面模様付け及び着色
- ◆ 規制標識及びガーブミラーの 塗装

13

致道博物館

鶴岡公園正面広場整備予定内容

- 整備予定期間 R3~R4
- 整備面積 A=約2,500㎡
- 工事予定内容
 - ・土工(造成等) ・撤去移設工 ・舗装工
 - ・植栽工(芝生等)
 - ・施設整備工(デッキ、シエルター、ベンチ等)
 - ・電気設備工(照明灯等)
 - ・園路を兼ねた歩道整備 (県道の拡幅工事に合わせて実施)



【現場説明・ワークショップの開催】

平成29年度に策定した「鶴岡公園正面広場周辺道路整備計画」に対しワークショップなどで広くご意見をいただき、その内容を実施設計に反映させていきます。

鶴岡工業高校

鶴岡南高校

②

②鶴岡公園内堀周辺道路修景整備

市道鶴岡公園新形町線L=522m

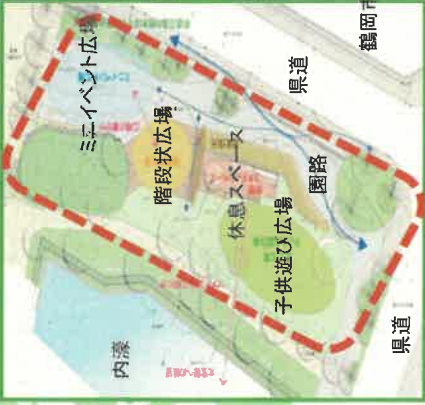
【県整備事業】

道形黄金線拡幅工事
L=227.6m

【拡幅工事計画予定内容】

- R3 東側地中化 L=128m
- 東側歩道整備 L=228m
- R4 道路部分整備 L=228m
- 公園側歩道整備 L=228m
- 公園側電線地中化 L=228m

①鶴岡公園正面広場整備



鶴岡市役所

公園側歩道新設



市役所側歩道拡幅

①方向イメージ

■400年記念事業に係るその他の動向について

○松ヶ岡開墾場

松ヶ岡開墾場では、令和3年度に開墾150年を迎えることから、「松ヶ岡開墾150年記念事業」を実施予定。記念講演会や集客イベントなど、鶴岡市も協力しながら各種事業に取り組む予定で、酒井家庄内入部400年記念事業とも連携していく。

○博物館等

・致道博物館

令和4年度に庄内藩や酒井家ゆかりの企画展示を行うこととしており、初代酒井忠次公や、3代酒井忠勝公の足跡など、県外の博物館とも連携した複数回の企画展を実施予定。

・荘内神社宝物殿

令和4年度に酒井家ゆかりの宝物展など、企画展を実施予定。

・出羽三山歴史博物館

令和4年度に入部以降の庄内藩酒井家と出羽三山とのつながりを紹介する企画展示を予定。

・黒川能保存会、王祇会館

現在保有している酒井家ゆかりの甲冑について調査研究を進め、令和4年度に企画展示を予定。また、黒川能についても、広くその本質を伝える特別公演も検討中。

○荘内酒井歴史文化振興会

荘内藩藩主酒井家墓所の令和4年度の一般公開に向け、クラウドファンディングなども活用し、保存・整備に取り組んでいる。

○庄内広域

・庄内ミュージアム関係団体

令和4年度に向けて、庄内開発協議会や庄内管内の複数の博物館・美術館等で構成される「庄内ミュージアム」と連携し、各地域の庄内藩や酒井家ゆかりの史実等を学び伝える企画展や、それらをつなぐモデルルート構築などを検討中。

・庄内観光コンベンション協会

令和4年度に向けて、庄内全域への交流人口の拡大につなげるため、関係市町等と情報共有し、連携事業について検討中。